

「第3回アドバイザー会議」における評価区分及び評価内容

調書番号:1 事業名:ふるさと納税促進対策事業費

アドバイザー	評価区分	評価内容
小口アドバイザー	「要改善」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスコミで返礼品について話題になっているが、ふるさと納税は曲がり角に来ている。</li> <li>・山梨を応援してくれる気持ちに応えるため、何をどのようにアピールするかが課題。</li> <li>・以下の点を指摘する。               <ul style="list-style-type: none"> <li>魅力ある体験メニューを増やしてほしい。山梨に来てもらうことについては、波及効果が期待できる。他県の事例を参考にすること。</li> <li>事業を応援してもらう仕組みにしてほしい。具体的なプロジェクトがよい。</li> <li>WEBからの寄附だと返礼品目的が大半になるので、カタログでPRしてほしい。配付先を拡大すること。</li> <li>シャインマスカットが人気で、本県への入口になることは強みだ。これに関連するイベントをPRしていくと、次につながる。</li> <li>ふるさと納税の返礼品を取りまとめているサイトは人気が高く、商品のPR効果が大きいので、メーカー名を出すことは慎重にしてほしい。</li> </ul> </li> </ul>
小澤アドバイザー	「要改善」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・返礼品については、区分、種類、また体験型の返礼品を増やすことが重要である。</li> <li>・県、市町村それぞれでやっているのだから、だぶっている返礼品もある。市町村で扱っていない返礼品を探りあててほしい。</li> </ul>
村上アドバイザー	「要改善」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイトをみると、市町村がメインのように見える。</li> <li>・県の取り組み姿勢がはっきりしない。市町村へつなぐ窓口になってほしい。山梨県全体として増えていくとよい。</li> <li>・(金額ベースで)カタログから4割とのことで、結構、多いので、首都圏でのカタログ配付を増やしてほしい。</li> <li>・返礼品の区分、種類を増やしてほしい。そうすると、業者が増えるが、偏りのないようにしてほしい。</li> </ul>